

## 無形民俗文化財再生支援モデル事業

(政策トライアル予算)

### 1 事業目的

少子高齢化や若者の流出による担い手不足、価値観・生活様式の変化により無形民俗文化財の保存・継承が難しくなっている中、民間の力や外部人材の介入により民俗文化財の再生を図る。併せて、再生される民俗文化財を活用し、地域のまちづくりや観光振興につなげる。

### 2 現状・課題

少子高齢化や産業構造、社会生活の変化により、無形民俗文化財の担い手に悩む団体は多い。地域住民の無形民俗文化財への関心も薄れ、地域住民間の関わりも希薄化してきている。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、保存会の活動も中止や縮小等で停滞している状況がある。練習や準備も行われなくなり、地域住民間での継承も進まず、発表の場も失われている。小中学校への指導機会も失われ、伝承者の育成活動が止まっている。

### 3 事業内容

- (1) 「再生隊」の募集・結成…民俗文化財の再生を担う若者等を県内から募集し、再生隊を組織する。
- (2) 発表機会の創出等の企画・実施…新たな発表の機会や方法を模索し創出していく中で、保存会活動の活性化を図る。

※ モデル的に1保存会の再生を実施（候補：羽根曾踊（南越前町））

### 4 事業主体

民間事業者、団体等

### 5 事業費

566千円（一般）